

FortiSASE ソリューションブリーフ

ソリューションブリーフについて

- ・ FortiClientによる接続(ユーザベース)
- ・ FortiGate/Extender/APによる接続(サイトベース)
- ・ SPA接続

等、

FortiSASEは様々なパターンで利用可能

= (逆に言えば)使い方によって必要コンポーネントや提案時の訴求ポイントが異なってくる

○ソリューションブリーフの対象読者

- ・ FortiSASEの概要は知っているけど、必要コンポーネントがイメージ出来ない
- ・ パターン毎の使い分けがイメージ出来ない
- ・ FortiSASEを提案したいが、訴求ポイントがイメージ出来ない

○ソリューションブリーフで分かること

- ・ 「最低限どのSKUを購入すればFortiSASEを利用出来るのか」
- ・ ユースケース毎のサンプル構成
- ・ 各パターンのメリットや訴求ポイント

パターン

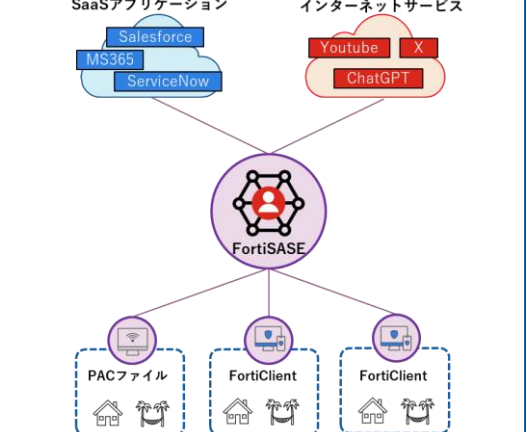
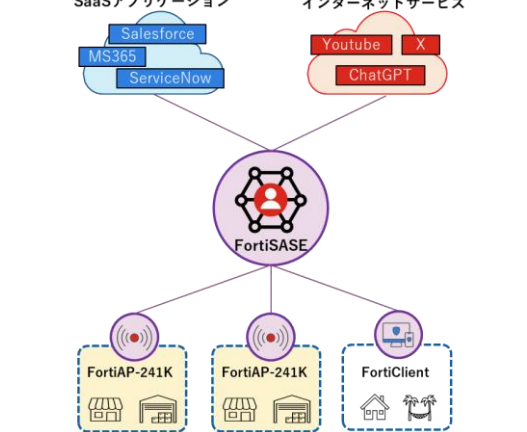
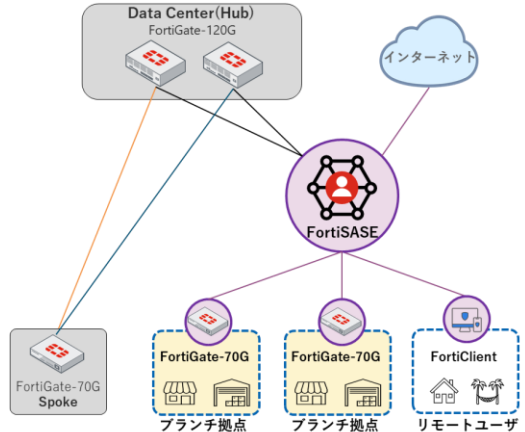
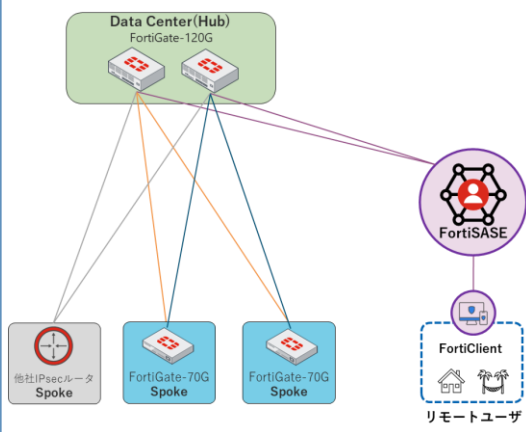
①FortiSASE+SD-WAN

②SecureEdge

③MicroBranch

④FortiClient

構成イメージ



概要

SPA利用パターン
FortiSASE→FortiGate(Hub)経由でSPA

サイトベースのSASE活用
FortiGate or Extender経由でFortiSASEと接続

サイトベースのSASE活用
FortiAP経由でFortiSASEと接続

ユーザベースのSASE活用
FortiClient経由でFortiSASEと接続

規模

小～大規模

小～中規模

小規模

小規模

ユースケース

- ・SPAを利用する場合
- ・既存FortiGateがある & SASE導入を検討している場合
- ・VPN基盤に懸念を抱えている
- ・VPN→ZTNAに移行を検討している

- ・拠点単位でSASEに接続したい場合
- ・小規模 & 多店舗展開にお勧め
- ・ブランチ側である程度通信量が発生する場合
- ・ブランチ側でLBOさせたい場合

- ・拠点単位でSASEに接続したい場合
- ・小規模 & 多店舗展開にお勧め
- ・ブランチ側の通信量が控え目な場合

- ・SASEにエンドポイント単位でリモートアクセスしたい場合
- ・エンドポイントでEPP機能を利用したい場合
- ・SPA無し & SIA/SSAのみでSASEを手軽に導入したい場合

訴求ポイント

- ・SD-WAN環境にAdd-Onするだけ、既存構成の大幅な変更が不要 →NW設計変更等、導入コストを抑えられる
- ・他社IPsecデバイスがある場合も、Hub用FortiGateを導入すればSPA可能
- ・VPN基盤のメンテナンス & 脆弱性対応をメーカーに一任
- ・コンポーネント & 構成はそのままZTNAの利用も可能 (追加費用無し)
- ・低コスト & シンプルなライセンス体系

- ・ZTPによる簡単 & 迅速な導入 エンジニア無しでも現地に設置可 (Extenderの場合)
- ・エンドポイントにFortiClientエージェントインストール不要
- ・低コスト & シンプルなライセンス体系

- ・ZTPによる簡単 & 迅速な導入 エンジニア無しでも現地に設置可
- ・エンドポイントにFortiClientエージェントインストール不要
- ・FortiSASEはAPのクラウドWLCとしても機能 →WLCを別途用意する必要無し
- ・低コスト & シンプルなライセンス体系

- ・最小限のコストでSIA/SSAを導入可能 同時にEPP機能も提供可能
- ・管理ユーザのインターネット & SaaSアクティビティを可視化
- ・低コスト & シンプルなライセンス体系

補足

SPA利用時は①と併用 (Hub拠点にFortiGateが必要)

SPA利用時は①と併用 (Hub拠点にFortiGateが必要)

SPA利用時は①と併用 (Hub拠点にFortiGateが必要)

サンプル構成①FortiSASE + SD-WANによるSIA/SSA/SPA

概要

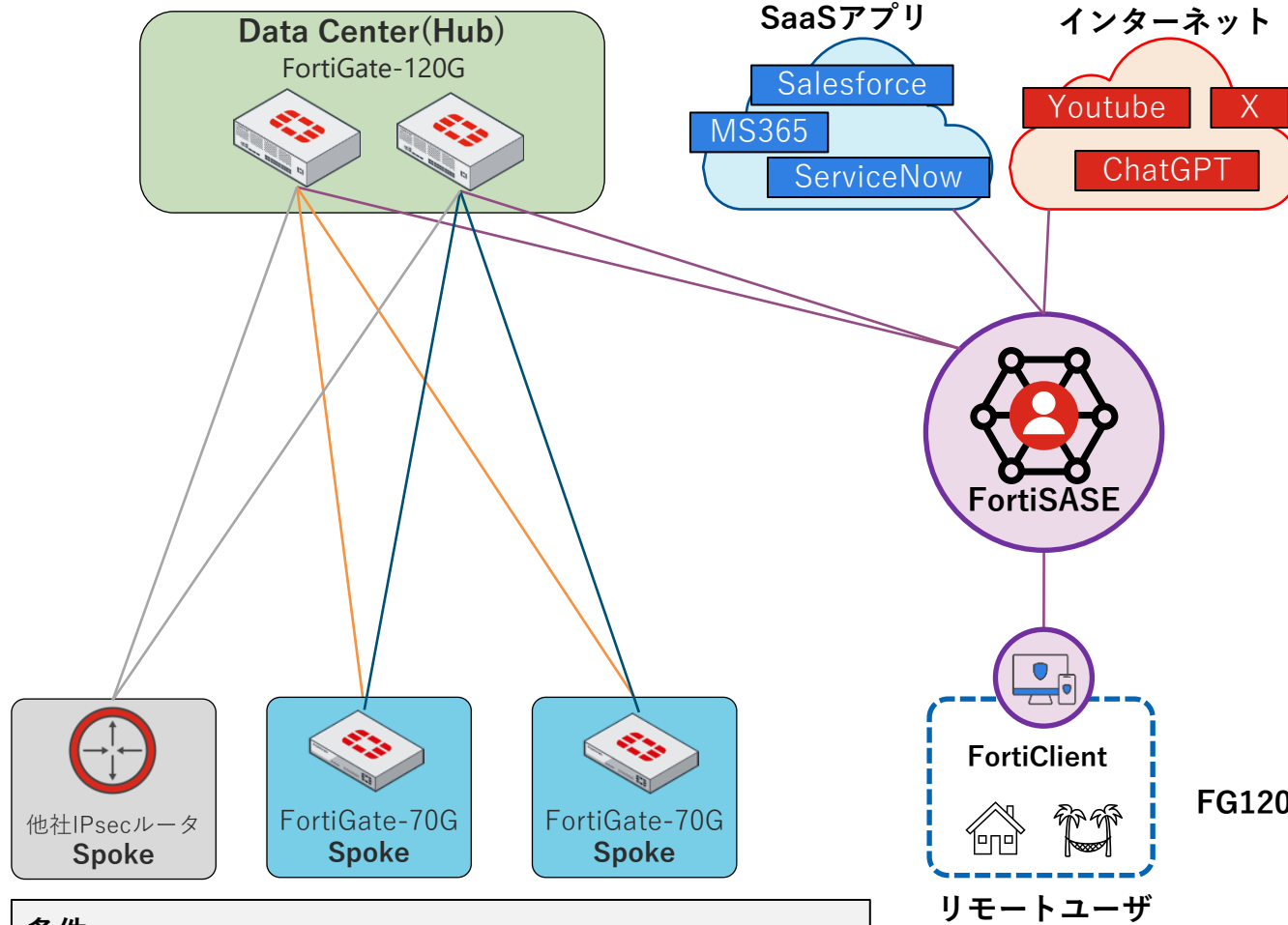
FortiGate SD-WANとFortiSASEを併用した
オンプレとクラウドのハイブリッドアーキテクチャ

メリット

- ・ 最小限の構成変更でSASEを導入可能
- ・ 既存FortiGateをそのまま活用することも可能
- ・ HubにFortiGateを導入すれば、他社IPsecルータにもSPA可能
- ・ 低コスト & シンプルなライセンス体系

ユースケース・訴求ポイント

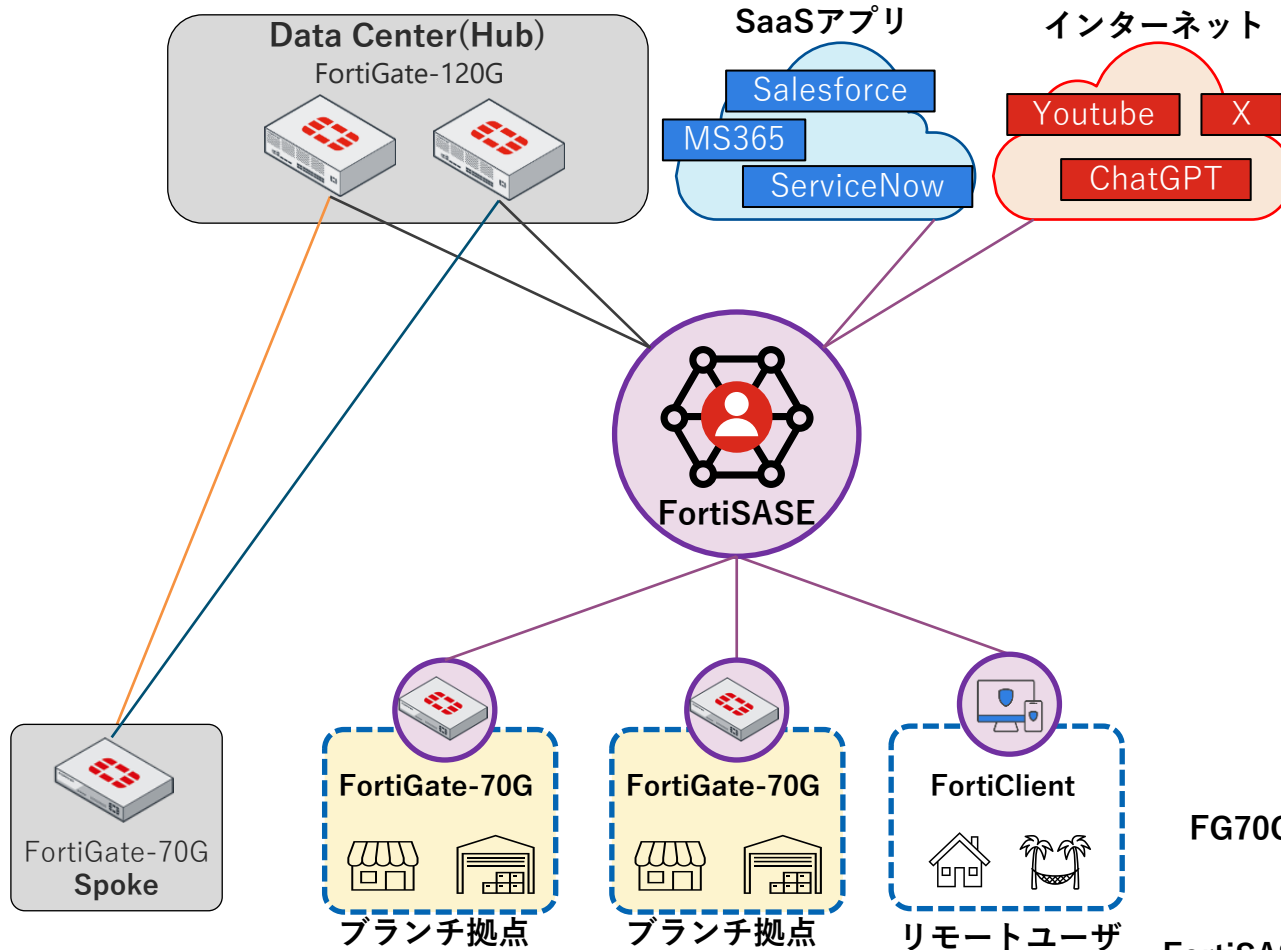
- 既存環境に導入済みFortiGateがある
- SASEの導入コストを抑えたい、移行を段階的に進めたい
- レガシーVPN→ZTNAへの移行を検討している
- リモート接続のセキュリティ強化+脆弱性対応をメーカーに一任



- 条件**
- **FortiSASE**
 - ・ ユーザ数 100
 - ・ Standardライセンス
 - **FortiGate(SD-WAN)**
 - ・ 全拠点HA構成
 - ・ Spokeは2拠点

	必要コンポーネント	SKU	数量
FG120G	Hub用 FortiGate 本体	FG-120G	2
	FortiCare+UTPライセンス	FC-10-F120G-950-02-DD	2
	FortiSASE SPA接続用ライセンス	FC-10-F120G-662-02-DD	2
FG70G	Spoke用 FortiGate 本体	FG-70G	4
	FortiCare+UTPライセンス	FC-10-GT70G-950-02-DD	4
FortiSASE	FortiSASE ユーザライセンス	FC2-10-EMS05-547-02-DD	100

サンプル構成②セキュアエッジ活用によるSIA/SSA



概要

FortiGate / Extenderを活用したサイト(拠点)ベースのSASE接続
小規模拠点・多店舗展開におすすめ

メリット

- ・ZTPによる迅速&容易な展開(Extenderの場合)
- ・ブランチ拠点からのLBOも可能
- ・ブランチ配下のPCにFortiClientエージェント配布不要
- ・低コスト&シンプルなライセンス体系

ユースケース・訴求ポイント

- コストを抑えて多店舗・小規模拠点にSASEを導入したい
- エージェントを配布せず拠点単位でSASEに接続したい
- ブランチ拠点の通信量がある程度見込まれる

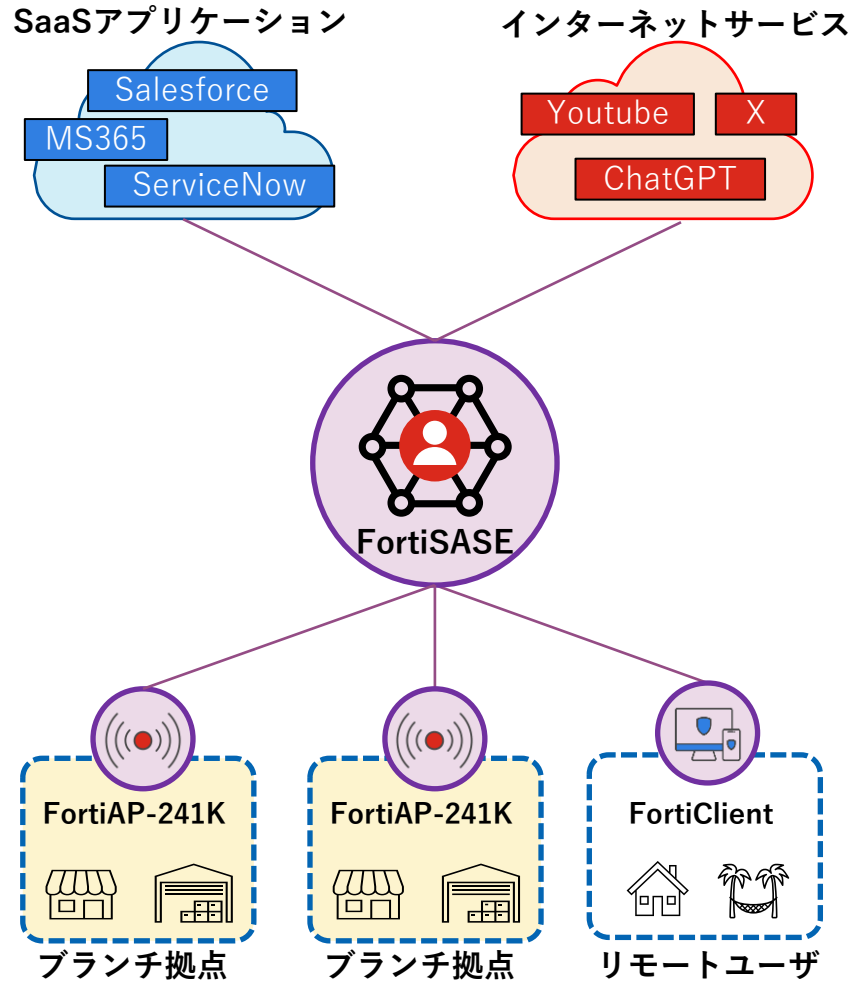
条件

- FortiSASE
 - ・ユーザ数 100
 - ・Standardライセンス
- セキュアエッジ
 - ・拠点毎FortiGate1台

必要コンポーネント	SKU	数量	
FG70G	FortiGate 本体	FG-70G	2
	FortiCare	FC-10-GT70G-247-02-DD	2
	FortiGate SASE接続用ライセンス	FC-10-GT70G-595-02-DD	2
FortiSASE	FortiSASE ユーザライセンス	FC2-10-EMS05-547-02-DD	100

※サイトベースのみの購入は不可
=ユーザライセンス(FortiClient)も購入する必要あり

サンプル構成③マイクロブランチ活用によるSIA/SSA



- 条件**
- FortiSASE
 - ・ ユーザ数 50(最小数)
 - ・ Standardライセンス
 - マイクロブランチ(FortiAP)
 - ・ エッジ拠点にはAPのみ導入

概要

FortiAPを活用したサイト(拠点)ベースのSASE接続
小規模拠点・多店舗展開におすすめ

メリット

- ・ ZTPによる迅速&容易な展開
- ・ WLC不要(SASEがWLCとしても機能)、拠点にはAPのみ導入
- ・ ブランチ配下のPCにFortiClientエージェント配布不要
- ・ 低コスト&シンプルなライセンス体系

ユースケース・訴求ポイント

- コストを抑えて多店舗・小規模拠点にSASEを導入したい
- エージェントを配布せず拠点単位でSASEに接続したい
- クラウド上でAPを一元管理したい
- 設置作業にエンジニア不要、インターネット疎通性のみでOK
- ブランチ拠点の通信量が控え目な場合

	必要コンポーネント	SKU	数量
FAP241K	FortiAP 本体	FAP-241K-J	2
	FortiCare	FC-10-P241K-247-02-DD	2
	FortiAP SASE接続用ライセンス	FC-10-P241K-595-02-DD	2
FortiSASE	FortiSASE ユーザライセンス	FC2-10-EMS05-547-02-DD	50

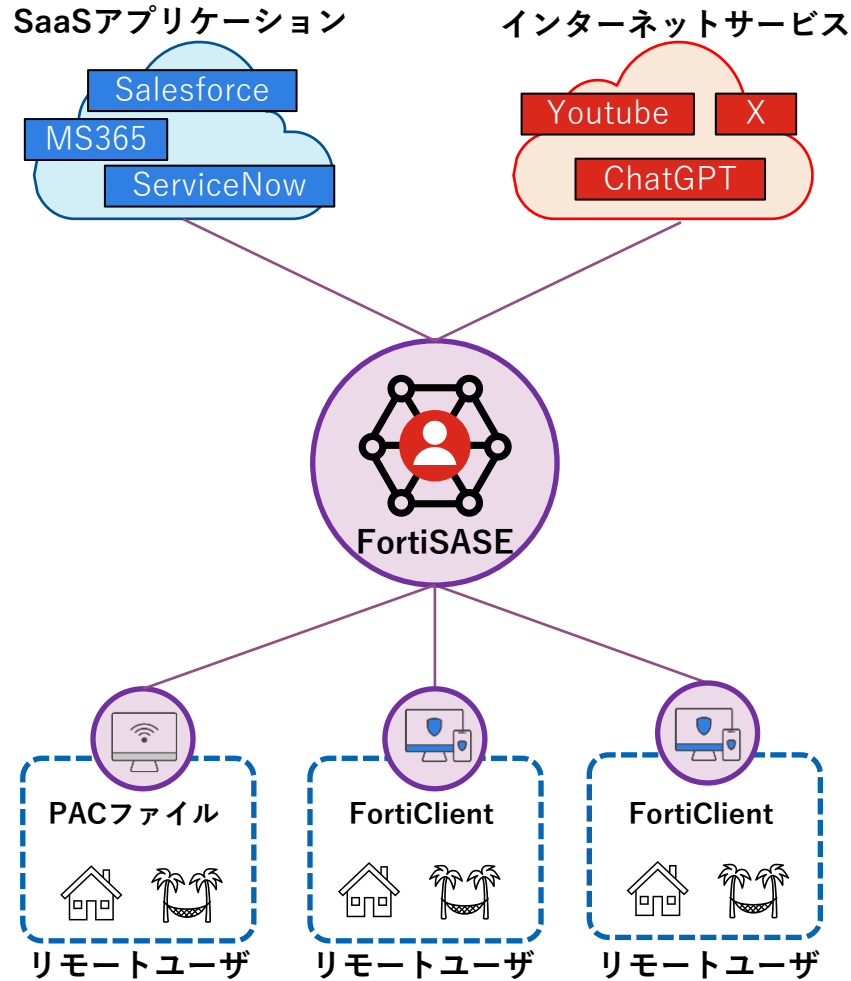
※FortiAPは最大240台まで接続・管理可能(2025/12/16現在)

今後のアップデートで1024台まで拡張予定

※マイクロブランチのみの購入は不可

=ユーザライセンス(FortiClient)も購入する必要あり

サンプル構成④FortiClientのみ導入



- 条件**
- FortiSASE
 - ・ ユーザ数 100
 - ・ Standardライセンス

概要

FortiClient or PACファイルによるユーザベースのSIA/SSA接続
EPP機能によるエンドポイントのセキュリティ機能強化

メリット

- ・ セキュアなインターネット/SaaSアクセスを実現
- ・ NGAV、アンチランサムウェア等のEPP機能を利用可能
- ・ 低コスト & シンプルなライセンス体系

ユースケース・訴求ポイント

- 社内リソースへの接続は別手段がある or 不要な場合
- 設備投資を抑えつつ安全にインターネット/SaaSに接続したい
- エンドポイントのアクティビティを可視化したい
- エンドポイントセキュリティを導入したい

必要コンポーネント	SKU	数量
FortiSASE ユーザライセンス	FC2-10-EMS05-547-02-DD	100

FortiSASE
× 100

※PACファイルによるエージェントレス接続(SWG接続)は
HTTP/HTTPSトラフィックのみFortiSASEにリダイレクトします
※FortiClientエージェントベース / エージェントレスSWGでSKUは変わりません
エージェント・エージェントレスの合計ユーザ数分をお買い求めください

パターン	①FortiSASE+SD-WAN	②SecureEdge	③MicroBranch	④FortiClient
構成イメージ				
概要	SPA利用パターン FortiSASE→FortiGate(Hub)経由でSPA	サイトベースのSASE活用 FortiGate or Extender経由でFortiSASEと接続	サイトベースのSASE活用 FortiAP経由でFortiSASEと接続	ユーザベースのSASE活用 FortiClient経由でFortiSASEと接続
規模	小～大規模	小～中規模	小規模	小規模
ユースケース	<ul style="list-style-type: none"> SPAを利用する場合 既存FortiGateがある & SASE導入を検討している場合 VPN基盤に懸念を抱えている VPN→ZTNAに移行を検討している 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点単位でSASEに接続したい場合 小規模&多店舗展開にお勧め ブランチ側である程度通信量が発生する場合 ブランチ側でLBOさせたい場合 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点単位でSASEに接続したい場合 小規模&多店舗展開にお勧め ブランチ側の通信量が控え目な場合 	<ul style="list-style-type: none"> SASEにエンドポイント単位で リモートアクセスしたい場合 エンドポイントでEPP機能を利用したい場合 SPA無し & SIA/SSAのみで SASEを手軽に導入したい場合

- FortiSASEは様々なパターンで利用可能
- パターン毎に必要なコンポーネント、ユースケース、訴求ポイントが異なる



必要情報を凝縮してソリューションブリーフにしました、是非ご活用ください！

